

2024年6月20日

循環経済社会の実現に向けて

使用済みマヨネーズボトル回収の実証実験

7月1日（月）から「イトーヨーカドー溝ノ口店」で開始

株式会社イトーヨーカ堂（本社：東京都品川区、代表取締役社長：山本 哲也、以下イトーヨーカドー）は、「イトーヨーカドー溝ノ口店」（神奈川県川崎市高津区久本 3-6-20）において、2024年7月1日（月）から実証実験として使用済みマヨネーズボトル^{※1}の回収を開始いたします。

この実証実験は、株式会社セブン&アイ・ホールディングスが参画しているクリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス^{※2}、キューピー株式会社、味の素株式会社、アマタホールディングス株式会社、川崎市と協働し、マヨネーズボトルの水平リサイクル^{※3}の実現に向けての必要な技術の確立と仕組みの構築を目指す取り組みになります。

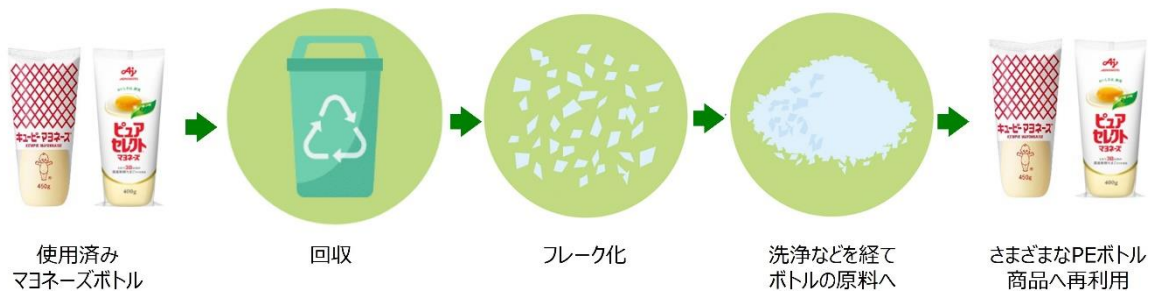
廃プラスチックのリサイクルについては、使用済み PET ボトルに代表されるような水平リサイクルの仕組みが社会的に実装されていません。今回、日頃から地域と一緒にリサイクル活動の啓発・推進に取り組んでいるイトーヨーカドーの店頭で回収を行うことにより、マヨネーズボトルの水平リサイクルの実現性を探ってまいります。本取り組みでは、素材・設計上、水平リサイクルの可能性がある使用済みマヨネーズボトルの回収を通じて、回収量や回収効率等を検証いたします。

イトーヨーカドーでは、これからもお客様やお取引先様をはじめ、全てのステークホルダーの皆様と一緒に、身近でわかりやすいリサイクルの仕組みの構築を目指すとともに、循環経済社会の実現に向け取り組んでまいります。

※1 マヨネーズ（JAS 規格）以外の半固体状ドレッシングなどのボトルも対象になります。例）「キューピーハーフ」「ピュアセレクト®コクラま®65%カロリーカット」など

※2 クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンスは、海洋プラスチック問題解決に向け、業種を超えた幅広い関係者の連携を強めイノベーションを加速するための2019年に設立された官民連携プラットフォームです。

※3 水平リサイクルとは、限りある資源を有効に使用するため、使用済みの商品容器・包材を原料として循環させ、再び同じ種類の商品容器・包材を製造することです。



マヨネーズボトル水平リサイクルイメージ

【マヨネーズボトル回収 概要】

回収場所 イトヨーカドー 溝ノ口店
1階立体駐車場側 東入口
(神奈川県川崎市高津区久本 3-6-20)

営業時間 10:00～21:00

実施期間 2024年7月1日(月)～2025年6月30日(月)

回収対象：家庭で使用済みのマヨネーズボトル

回収方法：1.フタとシールをはがす
2.水を1/3入れて、振って洗う
3.ハサミで半分に切り、スポンジで洗う
4.乾燥させ、マヨネーズボトルのみ回収ボックスに入れる



設置予定の回収ボックスイメージ



<対象商品一例>



【関連情報】

キューピー株式会社 ニュースリリース

<https://www.kewpie.com/newsrelease/>

味の素株式会社 ニュースリリース

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/presscenter/>

クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス公式サイト

<https://cloma.net/>

以上